

■原坦山 禅僧，仏教学者。仏教の近代化をめざし，維新政府の宗教政策にも対応，東大で初めて仏典を講義した。

はらたんざん

群書類従完結1819＝ 磐城平藩士新井勇輔の長男として生まる。

シボム事件・1828＝9歳：

__初め儒者になることを志し，

天保大飢饉始1833＝14歳：__江戸に出て，漢学を学び，昌平黌に入学，佐藤一斎の薫陶を受ける。

__ついで，医学を学ぶうち，

大塩平八郎乱1837＝18歳：

__たまたま梅檀林(駒澤大学のもととなる曹洞宗学寮)の寮司の京瑛に出会い論争して仏教の意義を知り，

天保改革終・1844＝25歳：__出家し，京瑛の本師の三河青眼寺達宗について得度。

阿部正弘首座1845＝26歳：

孝明天皇・・1846＝27歳：

__ついで宇治興聖寺廻天，大坂の覺巖・風外に歴参し，法を京燦に嗣いだ。

__京都大悲山の山中に幽居し，

ペリー来航・1853＝34歳：

安政大地震・1855＝36歳：__永平寺で導師を務める瑞世した後，

松下村塾・・1856＝37歳：__二条関白の祈願所たる白川の心性寺の住職となる。

そのころに蘭医であった小森宗二に会い，西洋の学問は実験実証に基づいていることを教えられ，仏教研究もその方法によるものでなくてはならぬことを痛感し，仏教で説く心識について医学的，解剖学的研究をなすべく志した。他方，正光真人から仙訣を受け，仏仙社を創めて門徒を聚め，仏仙説をもってして心身の調和を唱えた。

桜田門外変・1860＝41歳：

禁門の変・・1864＝45歳：

明治維新・・1868＝49歳：

初の日刊新聞1870＝51歳：__東京に諸宗總費が設置されると，その寮頭に任じられ，

学問のすすめ1872＝53歳：__*教部省設置に伴い，教導職となる。

明治6年政変 1873＝54歳：

一時出版法違反に問われて還俗したが，

__権訓導から少教正に累進し，

琉球処分・・1879＝60歳：__*帝国大学印度哲学の講師となり，同大学ではじめて仏典を講じ，

明治14年政変1881＝62歳：

新体詩抄・・1882＝63歳：

東京大学文学会・哲学会，あるいは学士会院にあつてしばしば講演，

内閣発足・・1885＝66歳：東京学士会院会員となり，

初の対等条約1888＝69歳：東大講師を退任。

帝国憲法発布1889＝70歳：

足尾鉋毒始・1891＝72歳：

大本教・・・1892＝73歳：__*曹洞宗宗務統理・大学林総監となった直後に，没した。